

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」
・大学と連携し防災教育に関するオンライン授業を行う



【取組内容②】

琉球大学医学部保健学科と連携して避難訓練に対するリモート授業が行われた。

避難訓練の主旨としては、伊是名島における避難訓練計画の策定及び避難行動支援者体験等多岐に渡り、その避難訓練の導入として琉球大学医学部保健学科の関口准教授のリモート授業が行われた。

2学年は職場体験の際、事前に琉球大学に出向き、液状化再現実験や津波再現実験を見学したあとだったので、リモート授業の内容の理解が早く、準備して頂いたクイズ形式の授業もスムーズに進めることができた。琉球大学からも2名サポートで来校され、円滑なリモート授業が可能となった。

津波のメカニズムや伊是名島のハザードマップの確認など、専門家による授業はとても分かりやすく、島内では得られる知識ではないので、貴重な時間となった。

その翌日は実際に防災訓練が行われ、前日の導入がしっかり行動として訓練を行うことができた。

防災授業ワークシートを準備し、端末を介して生徒に一斉に配布(アンケート形式)、解答確認しながら個々の防災に対する考え方を集約。琉球大学とも共有し、生徒の防災意識の変容を確認できた。

島内だけの教育資源には限界があり、今後もオンラインで専門家を招聘しながら、様々な学びに触れさせていきたい。

